



JAふくしま未来
就農スタイル

農業技術
の
継承

[福島県北・相馬地区]
就農支援ガイド

みらい
農
ライフ

福島県北・そうま地区新規就農支援連絡会

JAふくしま未来管内で 農業始めませんか？

JAふくしま未来では、「のれん分け方式」により
農業技術の継承、農地の確保など、
皆さんの「はじめの一步と就農後の相談等（解決策）」を支援します！



JA ふくしま未来管内の紹介

福島県北とそうま地区は、雪の少ない太平洋側から自然豊かな山間部や平地等があり、福島県北地域（福島市・伊達市・二本松市・本宮市・川俣町・国見町・桑折町・大玉村）と相馬地域（相馬市・南相馬市・新地町・飯館村）の12市町村を管轄する広域JAです。全国有数の果樹・野菜産地であり、管内では、多くの農産物が栽培されています。

果実

もも・りんご・なし・ぶどう・
おうとう・あんぼ柿・いちご等

水稲

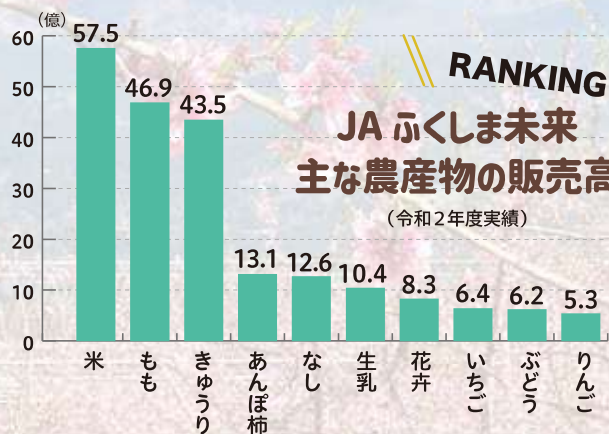
コシヒカリ・天のつぶ・
ひとめぼれ等（主力品種）

野菜

きゅうり・にら・チェリートマト・
春菊・アスパラガス・菌茸類等

畜産

生乳・肉牛・和牛子牛等



おすすめ品目と年間スケジュール

生産量全国

第2位

もも



主な産地

福島地区
伊達地区

POINT

モモの一大産地で知られており、モモ共選場の整備も整っているため栽培に専念することができます。寒暖差の大きな気候と長い日照時間がおいしいモモを育てます。

主な作業内容 △摘蕾 ○摘花 ◎摘果 □収穫 ◇剪定

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
早生～晩生	—	△	—	○	◎	—	□	—	—	—	—	◇

生産量全国

第1位

あんぽ柿



主な産地

伊達地区

POINT

加工が本格化する11月になると、気温が低下し、乾いた風が吹き、あんぽ柿作りに最適な気候条件となります。

主な作業内容 △収穫 ○加工調整・出荷

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平核無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	○	—
蜂屋柿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	○

夏秋きゅうり

生産量全国

第1位

きゅうり



主な産地

管内全域

POINT

初期投資が少なく、価格が安定しており、収益性の高い品目です。施設や機械を導入する際は、J A独自の補助事業が活用できます。選果場が整備されている地区もあり、規模拡大もしやすいです。

主な作業内容 △播種 ○定植 □収穫

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
雨よけ(長期)	—	—	△	○	□	—	—	—	—	—	—	—
露地	—	—	—	△	○	□	—	—	—	—	—	—
抑制	—	—	—	—	—	△	○	□	—	—	—	—

チェリートマト



主な産地

管内全域

POINT

市場価格が安定している品目で、特に夏から秋にかけては高値で販売できます。施設や機械を導入する際は、J A独自の補助事業が活用できます。

主な作業内容 △播種 ○定植 □収穫

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
6～10月出荷	—	—	△	○	—	□	—	—	—	—	—	—

長ネギ



主な産地

そうま地区

POINT

作業が軽易な土地利用型の蔬菜で、転作を利用しながら、冬の収入の確保に繋がります。施設や機械を導入する際は、J A独自の補助事業が活用できます。

主な作業内容 △播種 ○定植 □収穫

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋冬どり	—	—	△	○	—	—	—	—	□	—	—	—

ブロッコリー



主な産地

そうま地区

POINT

前半に他の蔬菜と組み合わせができ、労働時間の分散ができることから、所得向上が期待できます。

主な作業内容 △播種 ○定植 □収穫

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋冬どり	—	—	—	—	—	—	—	△	○	□	—	—

小菊



主な産地

管内全域

POINT

J A生産部会の技術支援制度が確立しており新規栽培者が急増中です。小菊は8月盆と9月彼岸の需要が多く生産への市場要望が高い品目です。施設や機械を導入する際は、J A独自の補助事業が活用できます。

主な作業内容 △播種 ○定植 □収穫

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
8月盆咲き	—	—	△	○	—	—	□	—	—	—	—	—
9月彼岸咲き	—	—	△	—	○	—	—	—	□	—	—	—

農業技術 の 継承

のれん分け 方式

[のれん分け方式事業とは]

地域段階の研修体制や支援体制の充実を図り、農家研修による農業技術の継承や耕作放棄地を再生農地として利用、就農相談から就農定着までの3年間を重点的にサポートします。また、農業経営の第三者継承に取組み、研修受入先及び離農する担い手の農業経営の第三者継承についてサポート・支援します。



のれん分け POINT

01

研修体制等の充実

就農相談から研修、就農までステップアップ式で支援するのれん分け方式により、新規就農者の速やかな技術力・経営力の向上を支援します。

新規
就農者

JA
ふくしま
未来

農業研修の
サポート

受入れ
農家

農林
事務所

市町村

のれん分け POINT

02

情報の一元化

就農相談・研修段階からJAふくしま未来が中心となり、関係機関との連携と役割分担により、就農計画の作成、技術習得や農地・機械・施設、住宅、資金の確保等、地域での円滑な就農を支援します。

受入研修先・新規就農者
のマッチング



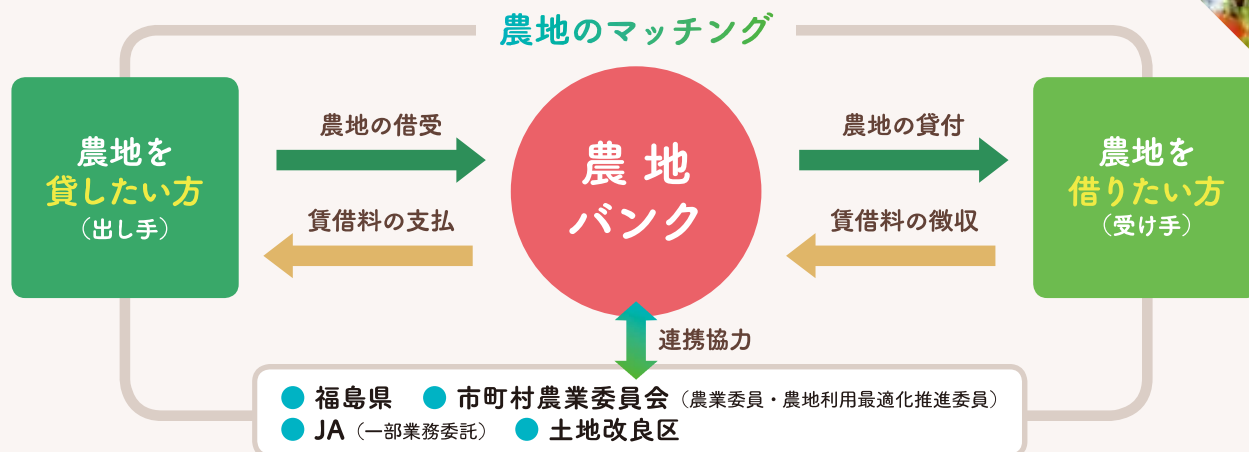
農業機械

農業機械（中古・新品）の購入やレンタル等
皆さんのスタイルに合ったご提案をいたします。

J Aふくしま未来サービス（J A子会社）で、必要な農業機械（中古・新品）を
購入できます。その他にも、J Aグループでは農業機械のレンタル等 Web 情報を
活用して皆さんに合った内容でのご提案・サポートいたします。

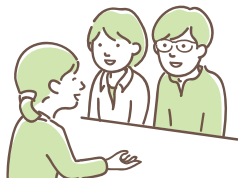
農地について

農業基盤がなくても大丈夫！
貸したい方と借りたい方のスムーズな手続きをサポートします。



（農地バンクとは）

農地中間管理機構（農地バンク）として、公益財団法人福島県農業振興公社が
農地中間管理事業を実施しています。農地バンクが地域内の分散した農用地等を
出し手から借り受け、まとまりのある形で担い手に長期間貸し付ける事業です。



新規就農にあたり農地をお探しの方は相談申し込み受付窓口へ

新規就農にあたり農地をお探しの方は、相談申し込み受付窓口（農業振興公社の駐在地域
マネージャー、各市町担当課、農業委員会、JA 担当課）までお申し出下さい。なお、借り受け
する農地がお決まりの方は手続きが必要となりますので、受付窓口までご連絡をお願いします。

JAふくしま未来担い手育成給付事業

新たに農業を始めるための資金や規模拡大にかかる資金、技術研修にかかる資金等に
対して、JA では申請額の 1 / 2 以内（上限 50 万円）で助成をしています。

*申請については要件があります。事業の詳細は要綱等でご確認願います。



サポート体制

就農までのサポートとして様々なイベントを企画しています。

新規
就農相談会

就農フェア
出展

就農
支援会議

現地
見学会

新規就農
支援セミナー



農業技術
の
継承

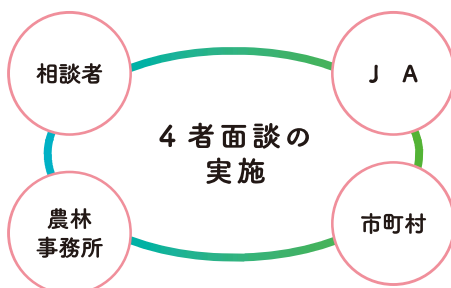
就農へのステップ

就農についての相談から安定した農業経営まで、
JA ふくしま未来がサポートします。

STEP
01

就農相談

地区本部新規就農支援チーム



- 各地区の新規就農相談員に就農についての不安や疑問を相談できます
- トータルサポート体制による新規就農希望者への支援

STEP
02

研修 [1年目]

地域農業振興計画を踏まえた方針の策定

- 新規就農者の経営開始から定着さらには、将来に繋がる支援

長期農業研修

- のれん分け方式による受入研修先（師匠）の営農技術習得の支援
- 研修受入先の栽培内容に合わせて農業研修を行う（農業経営の第三者継承含む）
- 関係機関との連携による居住に係る対応

就農準備支援（関係機関協力による面談の実施）

- 営農計画の策定支援・新規就農者育成総合対策事業等関係機関とサポート

農地確保に向けた耕作放棄地の再生利用

- 耕作放棄地になった遊休農地を再生活用して、新規就農者に対してサポート

新規就農者育成総合

青年等就農資金・農業



就農後も
安定した農業
経営をサポート!



STEP
03

就農 [2年目]

のれん分け方式による 栽培経営への取組み (チャレンジ)

- 研修生は実際の栽培園地を設けて栽培に取り組む
- 農地の取得 (賃借)、斡旋による就農支援
- 営農開始に伴う施設、機械、資材等の取得支援
- 営農並びに生活に対する資金対策支援
- JA 生産部会、直売所等への新規就農者の受入

就農に関する
疑問・質問
ご相談ください!



STEP
04

就農 [3年目]

継続的農業技術継承 営農指導員・担い手涉外による 定期巡回

1. 就農直後

- 就農後の継続的な支援

2. 経営発展期

- 経営力向上のための定期的な支援 (生産部会組織活動への参加など)

3. 継続的農業技術継承

- 新規就農者同士の会合等による定着支援
- 研修先農業技術継承と相互研鑽を目的とした「のれん会」(仮称) などの仕組み構築

4. 地域への定着支援

- 地域コミュニティへの参画支援から地域農業者との交流のためのサポート支援
- 地域組織活動参加支援

合対策【旧農業次世代人材投資事業 (準備型・経営開始型)】

近代化資金等 各ステップに合わせて資金を紹介 ※各種要件あり

先輩農家 インタビュー

INTERVIEW

二本松市

塩田 幸治 さん

出身：東京都



＼ 経営内容 ／

- ☐ きゅうり …… 10a
- ☐ 直売用野菜 ……
- ビニールハウス1棟

1 農業を目指したきっかけ

福島県での就農を決めたきっかけは東日本大震災のボランティアに訪れた時です。祖父母の家が福島県にあり、小さい頃から訪れていた場所の復興を農業で手助けをしたいと思いました。

きゅうりを選んだ理由は、初期費用も少なく、単年で収益につながるから。また、近くにJAきゅうり選果場があり、栽培に専念して取り組むことができます。

2 就農の道のり

36歳で勤めていた会社を辞め、技術習得のため国の事業を活用しながら3年間の研修をしました。住宅と農地については空き家となっていた住宅と農地セットで購入しました。

技術の習得については、JAきゅうり生産部会に入り、指導会への参加やJA担い手涉外、営農指導員による巡回で経営・営農指導をもらっています。

3 新規就農者を目指す方に アドバイス

私は、東京都から移住しゼロから農業を始めました。台風により園地が水没したりと、思いがけない困難もありましたが、地域の方やJA生産部会の方、行政、JAの方々にサポートをもらいながら、再スタートすることができました。農業は自然が相手の仕事であり、思い通りにいかないこともありますが、自分で栽培するのは楽しく、やりがいを感じます。

家や農地、機械の購入などある程度の資金が必要になるので、事業などを活用して少しずつ規模拡大をしながら、始めると良いと思います。



福島市

八巻 秀人 さん



＼ 経営内容 ／

- ☐ 小菊 …… 40a
- ☐ 水稻 …… 74a
- ☐ 葉ボタン …… 4a

1 農業を目指したきっかけ

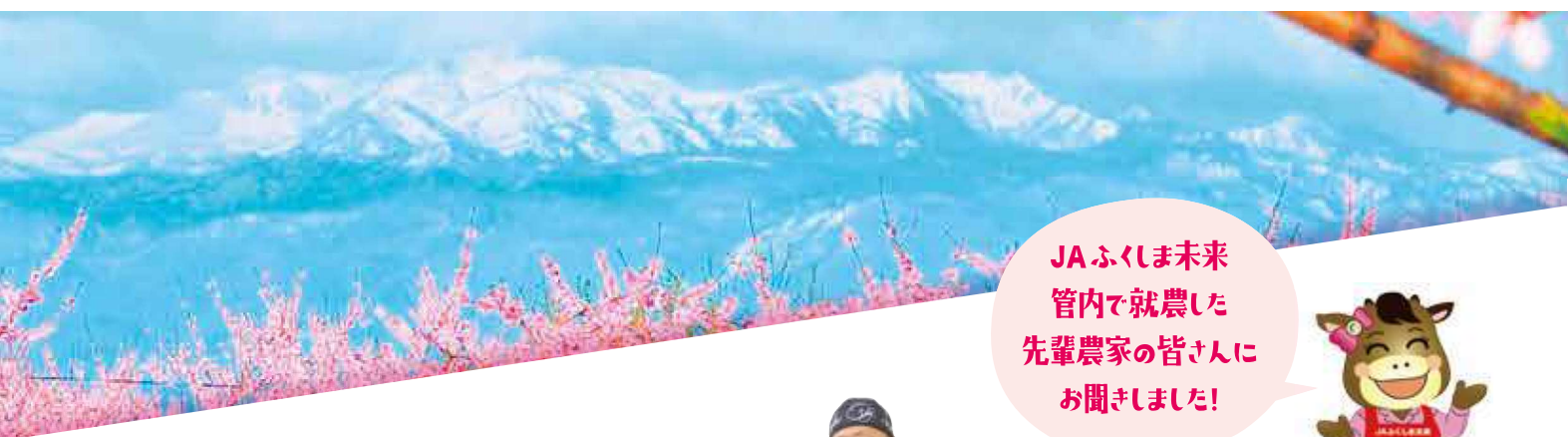
個人事業主として働いていましたが、両親が高齢になってきたので、元気なうちに基本的な事を学ぶために就農しました。

2 就農の道のり

研修的なものはしておらず、両親からとJA指導員・同じ作物を育成している方から話を聞きながら経験を積み、日々奮闘しています。

3 新規就農者を目指す方に アドバイス

昔のことわざにもありますが「聞くは一時の恥・聞かぬは一生の損」、何をやるにも初めてなのでJAの指導員なり、同じ作物を作る仲間なり、どんなことでも聞いてもらいたいです。そして、良い作物を育て収益を上げて就農して良かったと思ってもらいたいです。



JAふくしま未来
管内で就農した
先輩農家の皆さんに
お聞きました!



📍
伊達市

内堀 雄 大さん 出身：北海道
美喜子さん 出身：福島県



＼ 経営内容 ／

□ モモ …… 150 a

1 農業を目指したきっかけ

夫婦とも会社員として働いていましたが、元々農業経営に興味があり、自分で挑戦してみたいと思い農業の道にすすみました。非農家でしたが、美喜子さんの地元が伊達ということもあり、モモを選択しました。



2 就農の道のり

始めは農業技術を身につけるため、ブドウやモモ農家のところで1年半ほど働きながら、農業のノウハウを学びました。

令和2年4月に就農し、国の事業やJA農業振興支援事業等を活用しながら、必要な機械や農業資材の購入など園地の整備をしています。果樹での新規参入のため、園地の確保に苦労しましたが、地域の方や先輩農家のサポートをもらいながら、辞める方の果樹園や新たな園地を借りることができました。

3 新規就農者を目指す方にアドバイス

地域に溶け込むことがなにより大事。農地を探すのも、地域の方々のネットワークや助けがあったからこそ、1年目でスムーズな就農をすることができたと思います。

一人ではなにをどうしたらいいのか、わからないことは多いので、行政やJA、地域の方々に積極的に相談しましょう。

📍
相馬市

横山 圭吾 さん



＼ 経営内容 ／

□ 水稻 …… 15 ha
□ 大豆 …… 6.8 ha
□ ブロッコリー …… 15 a
□ 小菊 …… 3 a



1 農業を目指したきっかけ

実家は代々続く米農家。仙台でシステムエンジニアとして勤務していましたが、実家に帰った際、農地や農業用機械が多くあることに気づきました。自分が継がなければ農地や農業用機械はどうなってしまうのかと考え、祖父と農業の話をするようになり、農地や農業機械を有効活用したい、祖父の代で農業を終わらせたくないとの思いから就農を決意しました。

2 就農の道のり

祖父が現役の農家だったので、祖父の元で経験を積みました。米、野菜の繁忙期には、近隣農家仲間と協力して作業を行っています。また、農業法人等の手伝いをしながら、更に経験を積んでいます。

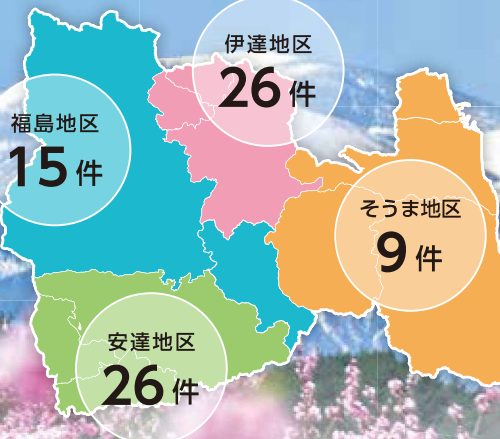


3 新規就農者を目指す方にアドバイス

実家が農家ならば、ぜひ、実家の農地や農業用機械などに目を向けて有効活用してほしい。また、地域の方々と農家へ農業について話を聞くことで、就農を決意するきっかけや後押しになり得るかと思います。そういった中から就農や農業の可能性を見つけてほしいです。

農業技術
継承

受入農家 紹介



JAふくしま未来
管内
受入農家件数

合計
76件

R4.2月末現在

福島市

今野 拓也 さん



経営内容 /

- ☐ 露地きゅうり …… 20 a
- ☐ 施設トマト …… 10 a
(大型ハウス1棟)
- ☐ ズッキーニ …… 10 a



受入品目・研修内容

- ◆ 露地きゅうり (購入苗)
 - 6月上旬 …… 定植
 - 7月上旬～9月下旬 …… 収穫
- ◆ 施設トマト (購入苗)
 - 8月中旬 …… 定植
 - 11月中旬～翌年6月下旬 …… 収穫

新規就農者へのメッセージ

平成27年に新規で就農しました。経営規模は小さいですが、「自分がやりたい形の農業」ができるように、毎日頑張っています。今は自分と同じ年代の研修生を受け入れています。スムーズに研修生が独立できるよう、一人一人の考え方に合わせた農業の形が作れるように、受入品目にかかわらずアドバイスできればと思っています。私たちと一緒に農業を楽しんでみませんか？

桑折町

後藤 哲男 さん



経営内容 /

- ☐ モモ …… 150 a
(早生種20a・中生種60a・晩生種70a)
- ☐ 水稻 …… 45 a



受入品目・研修内容

- ◆ モモ
 - 4月 …… 摘花
 - 5月中旬～6月上旬 …… 摘果
 - 7月中旬～10月上旬 …… 収穫
 - 12月上旬～1月末 …… 剪定
 - 2月中旬～3月末 …… 摘蕾

新規就農者へのメッセージ

桑折町産の桃あかつきは皇室への献上桃として長年選ばれています。産地の維持・継承を目指し、農業技術を次世代へとつないでいきたいと思っています。桑折町やJAでも新規就農者向けの助成を準備する等、地域全体で皆さんを支援します。一緒に地域農業を盛り上げていきましょう！

就農モデル

CASE A

野菜

きゅうり (雨除け)

+

春菊 (ハウス
(きゅうりの後作))

専従者 1 名

品目	面積 (a)	収入(万円)
きゅうり (雨除け)	20	700
春菊 (ハウス)	20	260

費用

450
万円

農業所得

510
万円

CASE B

果樹

モモ

専従者 1 名+季節雇用

品目	面積 (a)	収入(万円)
モモ	80	700

費用

450
万円

農業所得

250
万円

CASE C

野菜 + 果樹

きゅうり (雨除け)

+

あんぽ柿 (原料: 自家柿)

品目	面積 (a)	収入(万円)
きゅうり (雨除け)	10	350
あんぽ柿	20	150

費用

220
万円

農業所得

280
万円

CASE D

果樹

ぶどう (シャインマスカット)

+

あんぽ柿 (蜂屋)

専従者 1 名+季節雇用

品目	面積 (a)	収入(万円)
ぶどう	30	864
あんぽ柿	40	270

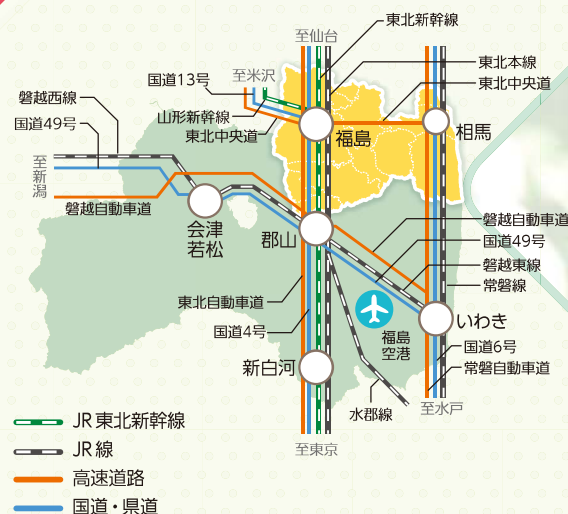
費用

625
万円

農業所得

509
万円

アクセス ACCESS



東京方面から		首都高速 川口	東北自動車道 約 3 時間	福島飯坂 IC	約 10 分	JA ふくしま未来本店
		東京駅	JR 東北新幹線 約 1 時間 35 分	福島駅	約 10 分	JA ふくしま未来本店
仙台方面から		仙台宮城 IC	東北自動車道 約 45 分	福島飯坂 IC	約 10 分	JA ふくしま未来本店
		仙台駅	JR 東北新幹線 約 20 分	福島駅	約 10 分	JA ふくしま未来本店
		仙台駅	JR 東北本線 約 1 時間 25 分	福島駅	約 10 分	JA ふくしま未来本店

公式 HP・SNS



JA ふくしま未来 HP
<https://www.ja-f-mirai.or.jp/>
「JA ふくしま未来」で WEB 検索



公式 YouTube



公式 Facebook

お問合せ

ふくしま未来農業協同組合各地区本部新規就農係まで

◆ 福島地区本部 農業振興課 (新規就農係)
TEL.024-554-5532 / FAX.024-552-5478

◆ 伊達地区本部 農業振興課 (新規就農係)
TEL.024-575-0114 / FAX.024-575-1796

◆ 安達地区本部 農業振興課 (新規就農係)
TEL.0243-33-2739 / FAX.0243-33-2801

◆ そうま地区本部 農業振興課 (新規就農係)
TEL.0244-67-2702 / FAX.0244-67-2548

福島県北・そうま地区新規就農支援連絡会 (事務局: ふくしま未来農業協同組合本店営農部農業振興課)
〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
TEL.024-573-1303 / FAX.024-529-6512

